

マイクロソフト サーバー: ベースおよび追加クライアント アクセス ライセンス (CAL) の概要

この簡易ガイドは、すべてマイクロソフト ライセンス プログラムに適用されます。

目次

概要.....	1
詳細.....	1
ソフトウェアの依存関係に関するライセンス要件	1
ベース CAL	1
Additive CAL	2
外部ユーザー アクセス.....	4
よく寄せられるご質問 (FAQ).....	4

概要

このライセンス簡易ガイドでは、サーバー/CAL またはコア単位/CAL のライセンス モデルのもとでライセンス提供される場合のマイクロソフトのサーバー ソフトウェアへのアクセスに関するクライアント アクセス ライセンス (CAL) の要件について説明します。

詳細

ソフトウェアの依存関係に関するライセンス要件

マイクロソフトのサーバー製品にアクセスするライセンスには 2 つの部分的なコンポーネントがあります。Windows Server オペレーティング システム自体にアクセスするものと、Windows Server 環境内で動作するマイクロソフト アプリケーションにアクセスするものです。これはよく、IT 環境で使用される製品の「スタック」のライセンスと呼ばれています。お客様には、スタックの各階層にアクセスするためのライセンスが必要です。主な例としては、Exchange Server や Skype for Business Server を使用する場合があります。お客様はこれらの製品を使用するために、必要な Windows Server の CAL と、Exchange Server および Skype for Business Server のいずれかまたは両方の適切な CAL を取得する必要があります。

ベース CAL

サーバー ソフトウェアには、一般的に、基本 (ベース) 機能と高度な機能が含まれます。基本のサーバー機能には、ベース CAL でアクセスでき

ます。また、高度なサーバー機能には追加 CAL ライセンスでアクセスできますが、対応するベース CAL を購入したうえで、追加 CAL を購入する必要があります。ベース CAL も追加 CAL も、ユーザー単位やデバイス単位で購入可能です。

サーバー/CAL およびコア単位/CAL のライセンス モデルでは、サーバー製品の基本機能にアクセスする場合、アクセスする各ユーザーまたはデバイスにベース CAL が必要です。

アプリケーション レイヤー

Exchange Server の ライセンス構造	Using Exchange Server with No Additive CAL		Using Exchange Server with Additive Ent. CAL	
	Additive CAL	No Additive CAL	Exchange Server Enterprise CAL	Exchange Server Standard CAL
Base CAL	Exchange Server Standard CAL	Exchange Server Standard CAL		
Base Product License	Exchange Server	Exchange Server		
	Appropriate Windows Server License Structure		Appropriate Windows Server License Structure	

Skype for Business の ライセンス構造	Using Skype for Business Server with No Additive CAL		Using Skype for Business Server & Additive Ent. CAL		Using Skype for Business Server & Additive Plus CAL		Using Skype for Business Server & Both Skype for Business Additive CALs	
	Additive CAL	No Additive CAL	Skype for Business Enterprise CAL	Skype for Business Server Plus CAL	Skype for Business Server Enterprise CAL	Skype for Business Server Plus CAL	Skype for Business Server Standard CAL	Skype for Business Server Standard CAL
Base CAL	Skype for Business Standard CAL	Skype for Business Standard CAL	Skype for Business Standard CAL	Skype for Business Standard CAL			Skype for Business Standard CAL	
Base Product License	Skype for Business Server	Skype for Business Server	Skype for Business Server	Skype for Business Server			Skype for Business Server	
	Appropriate Windows Server License Structure		Appropriate Windows Server License Structure		Appropriate Windows Server License Structure		Appropriate Windows Server License Structure	

サーバー オペレーティング システム レイヤー

Windows Server の ライセンス構造	Using Windows Server Only		Using Windows Server and RDS CAL		Using Windows Server and Active Directory RMS CAL		Using Windows Server & Both Additive CALs	
	Additive CAL	No Additive CAL	Remote Desktop Services CAL	Active Directory RMS CAL	Active Directory RMS CAL	Remote Desktop Services CAL		
Base CAL	Windows Server CAL	Windows Server CAL	Windows Server CAL	Windows Server CAL			Windows Server CAL	
Base Product License	Windows Server	Windows Server	Windows Server	Windows Server			Windows Server	

図 1 : ベースおよび追加サーバー/CAL 製品のライセンス

追加 CAL

Windows Server オペレーティング システムなどの一部の Microsoft ソフトウェア製品では、“追加 CAL” と呼ばれるライセンス付きの追加機

能がライセンス供与されます。サーバー製品の高度な機能には、追加 CAL ライセンスでアクセスできますが、対応するベース CAL を購入したうえで追加 CAL を購入する必要があります。追加 CAL は、「プレミアム」CAL や「プレミアム サービス」CAL と呼ばれることもあります。

追加 CAL には、Windows Server Remote Desktop Services CAL や Windows Sever Active Directory Rights Management Services (RMS) CAL などがあります。どちらの追加 CAL でも、Windows Server に含まれる高度な機能のライセンスが付与されます。この高度な機能にアクセスするには、デバイスまたはユーザーごとにライセンスが必要です。

以下の図は Windows Server CAL の 4 つのライセンス オプションについて説明したものです。

サーバー オペレーティング システム レイヤー

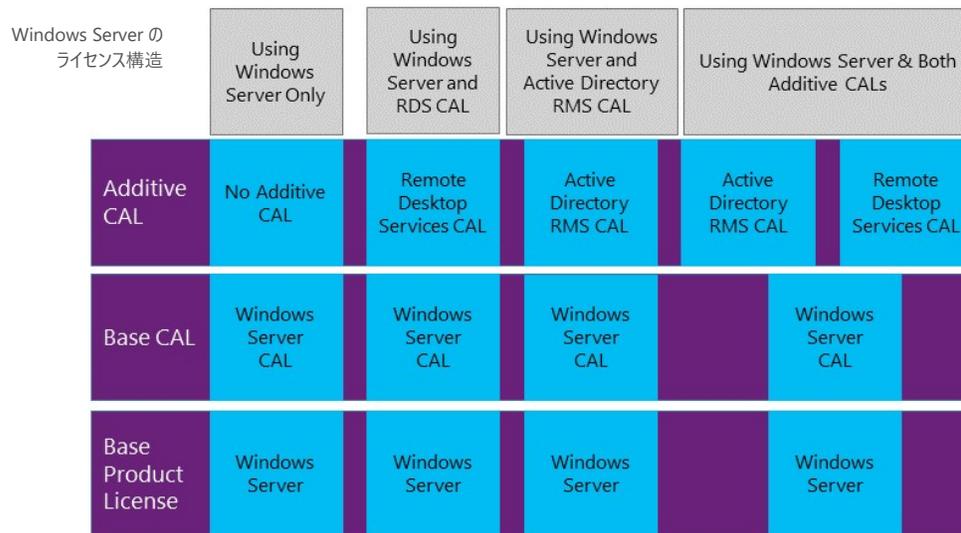


図 2 : Windows Server CAL のライセンス構造オプション

Microsoft Exchange Server では、Exchange Server Standard CAL に追加してライセンス供与される Exchange Server Enterprise CAL と呼ばれる追加 CAL が提供されます。Exchange Server Enterprise CAL から高度な機能にアクセスする必要がある各ユーザーまたはデバイスには、前提条件として、対応する Exchange Server のベース Standard CAL も購入する必要があります。

以下の図は、Exchange Server CAL の 2 つのライセンス オプションの概要を説明したものです

Exchange Server の ライセンス構造	Using Exchange Server with No Additive CAL	Using Exchange Server with Additive Ent. CAL
Additive CAL	No Additive CAL	Exchange Server Enterprise CAL with Services
Base CAL	Exchange Server Standard CAL	Exchange Server Standard CAL
Base Product License	Exchange Server	Exchange Server
	Appropriate Windows Server License Structure	Appropriate Windows Server License Structure

図 3 : Exchange Server CAL のライセンス構造オプション

類似の形式の例として、Microsoft SharePoint Server では、SharePoint Standard CAL および SharePoint Enterprise CAL が提供されます。Skype for business Server では、Skype for business Server Standard CAL、Skype for business Server Enterprise CAL および Skype for business Server Plus CAL も提供されます。

外部ユーザー アクセス

マイクロソフトのサーバー ソフトウェアは、外部ユーザーがアクセスする場合、ライセンスが必要になります。一部のサーバー ソフトウェアでは、サーバー ライセンス自体に外部ユーザー アクセスのライセンスが含まれているため、他のライセンスは必要ありません。ベース CAL と追加 CAL の両方のアクセス ライセンスが必要なサーバー ソフトウェアもあり、その場合には、すべての外部ユーザーに External Connector ライセンスが必要です。External Connector ライセンスはサーバーに割り当てられ、すべての外部ユーザーにライセンスが付与されるため、外部ユーザーがそれぞれ CAL を取得する必要はありません。基本機能と高度な機能を含むサーバー ソフトウェアでは、ベースの External Connector ライセンスと併せて、それぞれの高度な機能に対応する追加の External Connector ライセンスが必要です。

よく寄せられるご質問 (FAQ)

Q1: プレミアム サービス CAL は追加 CAL と同じものですか。

A: はい、そうです。追加 CAL は、“プレミアム” CAL または “プレミアム サービス” CAL と呼ばれることがあります。この用語は、オンライン サービスで混乱を引き起こさないように、より説明的な用語である “追加 CAL” に変更されました。

Q2: 複数のサーバー上で実行されている同一の機能にアクセスする場合、ユーザーまたはデバイスごとに複数の追加 CAL が必要になりますか。

A: いいえ。ライセンスを取得済みのサーバーが何台ある場合でも、サービスを使用するために必要なユーザーまたはデバイスの追加 CAL は 1 つだけです。たとえば、リモート デスクトップ サービスのユーザー CAL では、1 人のユーザーが、Windows Server のライセンスを持つ任意のサーバー上のリモート デスクトップ サービス機能にアクセスできます。

Q3: 追加 CAL は、Standard Edition や Enterprise Edition など、サーバー ソフトウェアの特定のエディションのみで有効なのですか。それとも、すべてのエディションで有効なのですか。

A: 通常、追加 CAL では、すべてのエディションのサーバー ソフトウェアにアクセスできます。たとえば、Exchange Server には、Standard Edition サーバーと Enterprise Edition サーバーの両方があります。Exchange Standard CAL および Exchange Enterprise CAL は、このサーバー ソフトウェアのどちらのエディションでも使用できます。

Q4: CAL はすべて同じ方法でライセンスが供与されるのですか。

A: CAL ライセンスは一般的に、この簡易ガイドに記載されているものと同じ条項に従って付与されます。ただし、一部のサーバー製品には、外部ユーザー アクセスのライセンスに関して製品独自の条項があります。サーバー ソフトウェアのアクセスに CAL が必要な各マイクロソフト サーバー ソフトウェア製品のライセンス モデルを確認するには、マイクロソフト製品条項サイトをご覧ください。

Q5: 1つのサーバー製品で複数の追加 CAL を利用することはできますか。

A: はい、1 つのサーバー製品で複数の追加 CAL を利用できます。たとえば、Windows Server では Windows Active Directory Rights Management Services と Remote Desktop Services の両方を利用できます。ただし、お客様が利用する場合は、そのそれぞれについて個別にデバイスまたはユーザー CAL あるいはその両方が必要となります。

Q6: 追加 CAL は Core CAL スイートに付属していますか。たとえば、Core CAL スイートを取得済みのお客様は、Remote Desktop Services と Active Directory Rights Management Services に対する権利を取得できるのでしょうか。

A: いいえ。追加 CAL は、Core CAL スイートには含まれていません。追加 CAL は、対応する機能を使用する場合にのみ必要となり、その場合は別途ライセンスを取得する必要があります。ただし、対応するベース CAL が Core CAL Suite に含まれている場合は、Core CAL Suite と併せて使用できます。

Q7: Enterprise CAL Suite と Core CAL Suite に含まれる追加 CAL について教えてください。

A: マイクロソフトの製品条項サイトの [CAL および ML の同等ライセンス](#) セクションに、Core CAL Suite および Enterprise CAL Suite に含まれるベース CAL と追加 CAL の最新のリストが掲載されているので、そちらをご覧ください。

Q8: Enterprise CAL スイートは Core CAL スイートの追加 CAL ですか。

A: いいえ、違います。CAL スイートは追加 CAL ではありません。Enterprise CAL スイートには Core CAL スイートのコンポーネントが含まれています。そのため、お客様は Core CAL スイートを購入せずに、Enterprise CAL スイートだけを購入できます。Core CAL スイートのライセンスをお持ちのお客様は、Core CAL スイートのライセンスを Enterprise CAL スイートのライセンスに切り替える “ステップアップ” ライセンスを購入できます。